

# SR600 Provance

## 場所

プロバンスのSR600は、カルセという村からスタートします。ホテルが一軒しかない小さな村です。場所は南フランス。マルセイユから100kmほど西の位置にあります。



カルセの街並み

赤土色の壁の家が建ち並ぶ。

## 行き方

まず私たちは関西空港からの直行便でパリに向かいました。関空をお昼前に出発すると、パリには夕方17:00ぐらいに着きます。夕方といっても8月のフランスは日が長いので暗くなるのは21時過ぎぐらいです。私たちはパリで一泊して次の日に国内線の飛行機でマルセイユへと向かいました。同日にマルセイユまで乗り継ぐことは可能ですが、かなり遅くに着くのでパリで一泊するのがベターだと思います。宿泊はパリのシャルルドゴール空港内にあるホテルを利用しましたが、空港の敷地は思っているよりはるかに広く、バイクケースを持って敷地内の

ホテルへの移動は想像以上に大変です。空港内でもタクシーの利用が結局一番楽で早いです。マルセイユへはお昼前に着く便を利用しました。そしてマルセイユからは非常に高額ですがタクシーでカルセまで移動です。空港の前にはタクシー乗り場があります。たまたま日曜だったのですが、100kmの距離を走ってくれるタクシーを見つけることができました。

---

## 自転車

---

私たちが乗ったエールフランスの場合、自転車を一緒に運ぶのに国際線、国内線でそれぞれ100ユーロ、55ユーロの計155ユーロが片道でかかります。バイクケースの大きさにより、重さが規定以内だと運が良ければ追加料金をとられない場合もあります。荷物をパリでピックアップせずに直接マルセイユまで送ることは可能です。その場合は国際線の100ユーロだけが適応されます。しかし、荷物を預けたままにするのは紛失、盗難のリスクがあるのでパリで一度ピックアップするのが望ましいように思います。

---

## カルセ

---

カルセの村で泊まった私たちのホテルには、クーラーも冷蔵庫もありませんでした。ホテルのそばには、小さな店が一軒、バーやレストランが何軒かありました。少し自転車で走るとバイクショップとスーパーマーケットもありました。気温は湿度が低いぐらいで、日本の昼と夜の差とあまり変わりありませんでした。ただ、カルセの村は山岳地帯のような気温差がありました。

---

## SR600

---

プロバンスのコースは、前半の400kmは山岳地帯、後半は村と村とをつなぐアップダウンです。滝、湖、山の間を流れる川、山頂の草原、キャンプ場にスキー場、山から下りてくると小高い丘に立ち並ぶフランス独特の家並みがありました。“sisteron le rocher de la baume”という観光名所。私たちが山を降りてくると、目の前の岩肌とその下に立ち並ぶ建物がちょうどライトアップされている時間で、その風景には目を見張るものがありました。



**最初のPC**

湧き水ポイント



**PCからの下り坂**

向かいの山はその後登るコース



### 谷間

絶壁の遥か下に川が流れているのが見える。



### きれいな湖

眼下にきれいな湖が見える。だいぶ下ってきたがその分また登らなくてはならない。



#### 麓の村

丘の上の高台に家が建ち並ぶ。一番高いところにあるのはお城のようだ。



#### sisteron le rocher de la baume

山の岩肌がライトアップされていた。

プロバンスは湧き水の名所と言われていて、立ち寄った村々に名前のある湧き水がありました。でも全てが飲めるわけではありません。所々にNon Portableと書かれた噴水もありました。これらは細菌の処理などをしていないので飲んでも保証はできない水のようなのです。ソフィさんからもらったキューシートには、湧き水のある村、パン屋さん、レストランなど細かい情報が書かれていてとても助かりました。前半の200kmはあまり何もありませんでしたが、それ以降はまばらに村があり、後半になると大きな街やスーパーマーケットもありました。私たちは時間を短縮するためにレストランを利用したのは一回だけでした。後はバーでコーラを飲んだり、パン屋やスーパーで食べ物を買ってしのぎました。



### パン屋さん

こんなパン屋さんを見つけては立ち寄っていた。



### 噴水

こんな感じの噴水で水を汲んで飲んでいた。フランスの水は飲めることが多いが、この写真の噴水は飲めそうで飲めない噴水。

私たちはフランスのSR600を走る前に日本のSR600を走るべきでした。普段のブルベとは違い600kmで10000m登るといことは勾配のきつい坂がずいぶん多いことを思い知らされたからです。そして、フランスの右側通行の路面の微妙な傾き加減で私たち二人とも、登りで左ひざが痛みました。



### **Pas de la Graille(1597m)**

後ろに見えるアンテナ  
が頂上で、ここは少し  
下ってきたところ。



### **ひまわり畑**

とてもたくさんのひま  
わりが咲いていた。こ  
んな平地はつかの間の  
休息。



### Sommet du Mont Ventoux(1910m)

このコース最大の難所。10%を超える坂が何キロも続く。

制限時間をオーバーしてそれでも走りきれたのは、立ち寄った村々のフランス人の暖かいふれあいがあったからです。

真夜中に道ばたで寝ていたら、車を停めて私たちに心配してくれたフランス人。道がわからずに地図を見ていたら声をかけてきてくれたフランス人。スーパーの場所を必死で教えてくれたフランス人。村の湧き水の場所を探していたら、家の地下にある湧き水を教えてくれた老夫婦。真っ暗な山から下りてきて夜中のバーでコーラを飲んでいたら、ギターの弾き語りをしてくれたフランス人。開店前のパン屋に駆け込むと、焼きたてのパンを売ってくれたフランス人。本当にたくさんのお優しいさを感じました。



### 老夫婦に教えてもらった 湧き水

家の地下にある、遺跡のような湧き水。



ゴール後、ソフィさんと連絡を取り合いホテルでお会いしました。

「私は楽しんで、コースを走りきってもらえればうれしいです」  
そう言ってソフィさんは私たちにSR600のメダルを差し出してくれました。ソフィさんとはジャージを交換して、私はソフィさんからビズをしてもらいました。



#### カルセ

カルセの入り口の看板の  
前にて。



#### ホテルにて

ソフィさんと記念撮影



ジャージ

ソフィさんと交換したジャージ。



メダルとブルベカード

国内以上に海外を走ることは大変ですが、すてきなプレゼントをたくさんもらうことができました。

私達のレポートでプロバンスSR600kmに興味を持ってもらえればと思います。最後に、目黒さんの力作であるコマ図を載せておきます。

[>SR600 CueMap.pdf](#)